

# 日本郵政グループの価値創造プロセス

郵便局ネットワークを中心にグループ一体となって、チームJPとして、

## 日本郵政グループを取り巻く 事業環境

### 物流業界

- 郵便物の減少トレンドの継続
- EC市場の拡大継続



### 金融業界

- 超低金利環境の継続
- 国際金融規制の強化
- 顧客本位の業務運営
- 決済手段の多様化



### 社会・経済・テクノロジー

- 人口減少・超少子高齢社会の到来  
(生産年齢人口の減少)
- 人件費の上昇、  
社会保障費用負担の増
- 新技術の登場 (AI・RPA<sup>※1</sup>・自動運転・  
ドローン・Fintech等)



※1 RPAとは、Robotic Process Automationの略語で、ロボットによる業務の自動化のことです。

## 中期経営計画2020「厳しい環境の中

### 日本郵政グループの強み

#### 社会・関係資本

- 日本全国24,000超の郵便局ネットワーク
- 邦銀随一のゆうちょ銀行の顧客基盤  
(通常貯金顧客数 約1億2,000万人)
- 2,799万人のかんぽ生命保険お客さま数<sup>※2</sup>

#### 人的・知的資本

- 40万人超の社員数
- 地域に密着しお客さま本位のサービスを行う社員

#### 財務・製造資本

- 充実した自己資本
- 郵便・物流、銀行、保険の3つの安定した収益基盤
- 全国に保有する土地・建物等のグループ資産

※2 契約者さま及び被保険者さまを合わせた人数(個人保険及び個人年金保険を含み、(株)かんぽ生命保険が独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している簡易生命保険契約を含む)。

社会へ

での安定的利益の確保と、持続的成長に向けたスタートを図る」

### 2018～2020年度の基本方針

- ①お客さまの生活をトータルにサポートする事業の展開
- ②安定的なグループ利益の確保
- ③社員の力を最大限に発揮するための環境の整備
- ④将来にわたる成長に向けた新たな事業展開

#### 日本郵便株式会社 P.22

- 郵便・物流事業
  - ▶商品やオペレーション体系の一体的見直しと荷物拡大に対応したサービス基盤の強化

#### ●金融窓口事業

- ▶地域ニーズに応じた個性・多様性ある郵便局展開等により郵便局ネットワークを維持・強化しつつ、最大限に活用して地域と共生

#### 株式会社ゆうちょ銀行 P.28

- 銀行業
  - ▶運用の高度化・多様化、非金利収益の拡大、効率的な資源配分

#### 日本郵政グループのCSR P.42

#### ●国際物流事業

- ▶トールの経営改善と、JP・トールのシナジー強化による国内のコントラクトロジスティクス展開

#### 株式会社かんぽ生命保険 P.30

- 生命保険業
  - ▶保障重視の販売、募集品質向上による保有契約の反転・成長

#### 日本郵政グループのガバナンス P.52

#### 日本郵政グループの創造価値

##### お客さま

- お客さま本位の良質なサービスの提供



##### 地域

- 地域の発展・活性化に貢献



##### 株主

- 株主還元の充実



##### 社員

- 働きがいのある職場の提供



##### 環境

- 持続可能な社会の創出

